

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、多島美を誇る瀬戸内海や、リアス式海岸が続く宇和海、西日本最高峰の石鎚山をはじめとして、豊かな自然に恵まれております。

しかし一方で、今日、地球温暖化の防止や循環型社会の構築、生物多様性の保全など、さまざまな環境問題に直面しています。

本県では、こうした課題への的確な対応に向けて、環境政策のマスタープランとなる「えひめ環境基本計画」を策定するとともに、県全体の温室効果ガス排出量の削減目標や、県民の暮らしと低炭素社会の両立を図る取り組み方針を明らかにした「愛媛県地球温暖化防止実行計画」をつくり、各種施策を展開しているところです。

さらに、設立10周年を迎えた「愛媛県環境創造センター」を中核として、みかんジュースの搾りかすを原料としたバイオエタノール製造技術の開発を進めるなど、温暖化対策の地産地消モデルの創造にも、積極的に取り組んでいます。

今後とも、県民のかけがえのない財産である自然環境を守り、未来に引き継いでいくため、行政や事業者、環境活動団体はもとより、ひろく県民の皆様のご理解、御協力をいただきながら、「みんなで作ろう、愛顔（えがお）あふれる愛媛県」をスローガンに、全国に誇れるさわやかな環境先進県の実現に取り組んで参りたいと考えております。

この「愛媛県環境白書」を通して、県内の現状や施策が、多くの方々に認識され、環境保全に向けた取り組みの更なる促進につながることを期待しています。

平成23年 1月

愛媛県知事 中村時広